

『熱心』～あなたの心はあついですか～イザヤ 30：18～24

「たいせつなきみ」の物語は神様と自分の関係を表したものであります。神様はいつも私たちを恵もうと待っておられる方です。自分で決断し、神様の元へ行くように願っています。この事を前提にし、今回のタイトルである「熱心」ということをみていきます。私たちの過去において、学生時代の部活やアルバイト等々、熱心にしてきた経験があるかと思えます。その時を振り返ると、日夜その事を考えたり、努力を惜しまなかったりしたのではないかと思えます。私たちは神様に対しても同じような熱心さを持っていますか。持っている人は何が原動力になっていますか。そして持っていない人はどのようにすれば、持てるようになるのでしょうか。①**イエス様を知った感動を思い出す**。私たちにはそれぞれ、神様を体験したことや感じた事があります。神様への熱心を保つためにそれが原動力となります。今まで味わったことない程の愛や平安を受けたのではないかと思えます。もっと神様を感じたいのであれば、主を求めていきましょう。必ず応えてくれると聖書は約束しています。②**受けることから始めよう**。神様は私たちのためにイエスキリストを十字架につけられ、身代わりとなり救いの道を開いて下さいました。その最初の愛を受けた事を実感し、神様へ何ができるかと考えていきたい思います。受ける事を求めているよりも、十字架の愛に感謝し、流していきましょう。そうすれば、神様はもっと祝福を与えて下さいます。それが良い循環となります。③**手当たり次第にやってみよう！**私にしかできない事を神様は教えてくれます。人にやってもらうのを待つのではなく、自分から行動していきましょう。神様のためにできる事をやってみましょう。日々考えてたり、行動する事が「熱心」である状態です。今できる事をやってみましょう。